

健康栄養学部

◎ 健康栄養学科の3つの方針

≪健康栄養学部健康栄養学科がめざす人間像≫

「倫理観」、「優しさ」、「思いやる心」といった医療人としての資質能力を備え、栄養・食生活支援を通して、人々の生活の質の向上や豊かな生活の実現に貢献できる管理栄養士

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

大学設置基準に基づき、本学が定める履修要件に沿って124単位以上を修得し、以下の観点別能力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与する。

[知識・理解]

- ・管理栄養士・栄養士として勤務するために必要な専門知識を理解し修得している。
- ・対象者の社会心理的背景を理解するための広範な知識を持っている。

[思考・判断]

- ・地域や対象者の課題を抽出し、解決策を考える事ができる。
- ・解決すべき課題に優先順位をつけ、何から取り組めば良いか総合的に判断することができる。

[技能・表現]

- ・健康と栄養を科学的に思考し、栄養科学の実践的技能を身につけ、対象者や対象集団に合わせた栄養ケア活動を実践できる。
- ・人や地域社会で生じる栄養・食生活の課題を明確にし、解決策を考え、提案し、また実行することができる。

[関心・意欲・態度]

- ・人や地域社会で生じる出来事や課題に関して関心をもち、栄養・食生活の改善を通じて、人々のQOLの向上に貢献するという意欲を持つ。
- ・医療人としての倫理観と、「優しさ」と「思いやる心」を持った人間性をもち、主体的に考える態度を身につけている。

教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・カリキュラムの根幹は、専門基礎分野と専門分野の2分野から構成される。専門基礎分野には、専門分野を理解するための基礎科目として、社会と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康の分野からなる。専門分野としては、基礎栄養学と応用栄養学をベースにして、栄養士業務の基本となる栄養教育論、さらに管理栄養士の活躍分野から分類した臨床栄養学、公衆栄養学、給食経理管理論からなる。
- ・それら科目の履修に先立ち、導入教育として専門職である管理栄養士の仕事を体感的に理解する科目である「健康栄養学概論」を設置している。
- ・2年、3年次には、栄養ケア活動の実践において地域住民にアプローチできるようにすることを目指す。そのために、「健康栄養学セミナーⅠ」および「健康栄養学セミナーⅡ」を学科基幹科目として開設し、個々の科目で学修した知識を統合的に発揮できる能力を養える科目を設置する。

- ・ 3年次後期から4年次にかけては、その実践を評価し見直す力を養うための卒業研究ゼミナール、卒業研究・演習を設定する。
- ・ 以上のような基本方針に基づき、管理栄養士国家試験受験資格や栄養教諭免許、その他の資格が取得できる基礎から応用まで様々な専門科目群を準備している。
- ・ これらが単なる知識や技術の修得だけに終わらぬよう、実践力を養うための臨地実習などが組み込まれている。

入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

健康栄養学部健康栄養学科では、食を通じた健康づくりと疾病の予防や治療に情熱をもって取り組む管理栄養士の育成を目的とし、次のような意欲、能力、適性をもった学生を受け入れることを基本方針とする。

- ① 食を通じて、世のため、人の役に立ちたいと考えている人
- ② 人が好きで、相手の立場を思いやることができ、協調性のある人
- ③ 大学教育の修得に必要な基礎学力を備えている人
- ④ 専門職としての責任を自覚し、生涯学習する意欲のある人

人体の構造と機能の理解をした上で、健康や疾病と食事との関係を知り、その人に必要な料理をおいしく提供したいという思いをもっている学生を受け入れたいと考えている。本学科への入学を希望する学生は、高等学校において基本とされる教科について高等学校卒業相当の知識を有していること、理科では「化学Ⅰ・生物Ⅰ・理科総合A・理科総合B」のうちの1科目以上を履修していることが望ましい。また、課外活動やボランティアなどに積極的に取り組む姿勢も大切である。